

「スマートな働き方」を実現する
IBMの次世代コラボレーション・プラットフォーム

IBM LotusLive™



IBM LotusLive よりスマートに働くために。



ビジネスを取り巻くIT環境の変化はますます速いものとなり、更に迅速なビジネスや高い品質、よりきめ細やかなサービスの実現が求められています。また企業には、組織の枠を超えた、高速で正確なオンラインによるコラボレーションが求められています。こうした中、多くの企業がクラウドやSaaS (Software as a Service) モデルのオンライン・コラボレーション・ソリューションに着目し、その導入へ準備を進めています。IBMでは、個人や組織がスムーズに連携し、その能力を最大限に引き出すために、SaaSモデルの次世代コラボレーション・プラットフォームIBM LotusLiveをご提供。より速く、より正確に、より効果的に。

LotusLive が「スマートな働き方」を実現し、企業の競争力を最大限に高めます。

IBM LotusLiveは、 一歩先の答えをご用意しています。

LotusLive は、ビジネスで利用するコラボレーション・ソリューションとソーシャル・ネットワーキング・サービスを統合したSaaSモデルのオンラインサービスです。いつでもどこからでも、ファイル共有やWeb会議、インスタント・メッセージ、ToDo管理、お客様とのネットワーク作りをセキュアに行うことができます。また、SaaSモデルのため、インフラ構築などの負荷も無く、プロジェクト単位からエンタープライズ用途まで規模を問わず、簡単・迅速に導入することができます。

企業や組織の壁を超えたコラボレーション環境を、
プロジェクト単位からエンタープライズまで、規模を問わないスマートな導入で実現します。

すべての業務を
メールに依存していませんか。

ファイル共有機能
で、解決。

P4へ

会議の準備に
半日かけていませんか。

Web会議機能
で、解決。

P6へ

“人”に頼ったプロジェクトに
なっていませんか。

アクティビティ機能
で、解決。

P8へ

ITインフラ改修に、
コストや業務負荷で
不安を抱えていませんか。

SaaSによる、
簡単・迅速な導入
で、解決。

P10へ

すべての業務をメールに依存していませんか。

いま、企業や組織の枠を超えたコミュニケーションやコラボレーションが求められています。一方で、その手段はe-メールや電話が中心で、業務の煩雑化はますます進行しています。

ファイルを
メール添付で
やり取りをし、
メールボックスが
肥大化している・・・

プロジェクトで
利用している
ドキュメントの、
最新バージョンが
分からなくなる・・・

メール添付で
ファイルを送ったが、
相手が把握したか
確認できていない・・・

IBM LotusLiveは、こうしたメール依存の
コミュニケーション環境を一新し、より効率的な業務を実現します。

組織の枠を超えたスマートな情報共有

ファイル共有機能

ファイル共有機能は、文書、プレゼンテーション、ブックマーク、複数のファイルを束ねたコレクションを保管・共有するためのオンラインスペースです。高いセキュリティが確保されている環境にファイルを掲載することで、そのファイルはいつでも、どこからでも閲覧・編集・共有することができるようになります。

ファイル共有の機能

- 個人ごとのオンライン・ストレージ
- 柔軟な共有設定
- バージョン管理、コメント機能
- タグ付け、高速検索、フィルタによる絞り込み表示
- 組織用のコレクション
- SSL暗号化によるセキュリティ管理
- ダウンロード履歴、新規バージョン通知

スマートなファイル共有のための多彩な機能

LotusLiveのファイル共有機能では、社内外を問わず、設定により接続が許可されたユーザーとのファイル共有が可能です。個々のユーザーは、標準で5GBのファイル共有スペースを利用する事ができ、このスペースには、バージョンの管理、誰と共有しているか、誰がダウンロードしたかだけでなく、共有している他のユーザーからのコメント機能など、多人数でスマートにファイル共有を行うための様々な機能が用意されています。

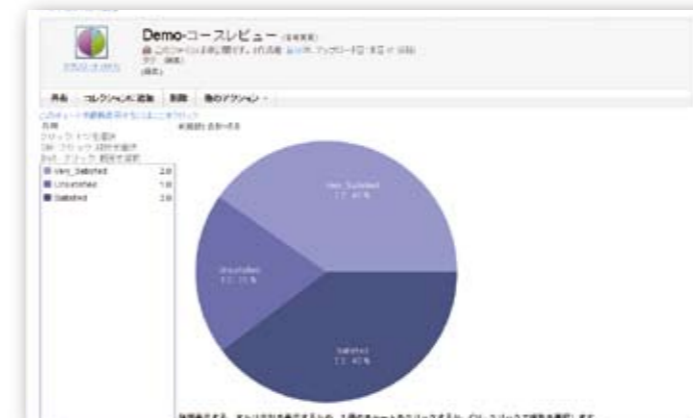
ゲストユーザーを無償で招待

ファイルを共有した相手にはリンクアドレスの付いたe-メールが送信されるため、従来のメール添付の送信と違い、個人のメールボックスを圧迫することなくコミュニケーションをとることが可能です。また、アクセス制御により、指定した相手にもみ共有することが可能です。

さらに、LotusLiveではファイルの共有相手がLotusLiveユーザーでない場合もゲストユーザーとして無償で招待しファイルを共有することが可能です。

グラフ、チャートによるグラフィカルな情報共有

ファイル共有スペースには、ファイルだけでなく表やグラフ、チャート、アンケートも掲載することが可能です。表やグラフ、チャートは表計算ファイルから簡単に作成することができます。また、アンケートは回答者を選択し、簡単に実施・集計することが可能です。



会議の準備に半日かけていませんか。

業務をスムーズに進める上で、効率的な会議は欠かせません。

しかし会議を開催するにあたりゲストのスケジュール調整や資料の準備などの手間が増え、主催者の負担が増加してしまうこともあります。

会議をするにあたり
必要な書類や
資料の準備に
時間がかかっている・・・

複数の国内拠点や
海外現地法人、
さらに社外の
パートナーとの
会議が必要・・・

Webセミナーを
開催したいが、
適正なインフラも
予算も無い・・・

IBM LotusLiveは、ファイル共有機能（※4ページ参照）とアクティビティー機能（※8ページ参照）と連携し、Web会議環境を構築。

会議自体を効率化するだけでなく準備や会議後の業務も効率化します。

直感的でスマートなコミュニケーションのために

Web会議機能

Web会議に必要な設備やスタッフを
自社に用意しなくても、サービスに登録するだけで
ブラウザベースのWeb会議が行えます。

会議主催者は、ゲストの人数に応じて
仮想のWeb会議室を選択し、クリックするだけで
会議を開催することができます。

参加者は、会議案内のe-メールのURLを
クリックするだけで参加できます。

Web会議の機能

- デスクトップ全体や指定したアプリケーション画面の共有
- 参加者による投票（多数決）
- Q&Aスタイルのメッセージ交換
- Webカメラ映像
- SSL暗号化による安全性とプライバシー

リアルタイムで正確なコミュニケーション

Web会議機能では同じ資料や画面を見ながら会議をすることができるため、電話やe-メールと比べリアルタイムで正確なコミュニケーションを行うことが可能です。

ファイル共有機能と同様に、ゲストは社内外を問わず誰でも招待することができます。また参加者には課金されず、招待した無償ゲストユーザーも参加することができます。

ファイル共有機能とのシームレスな連携

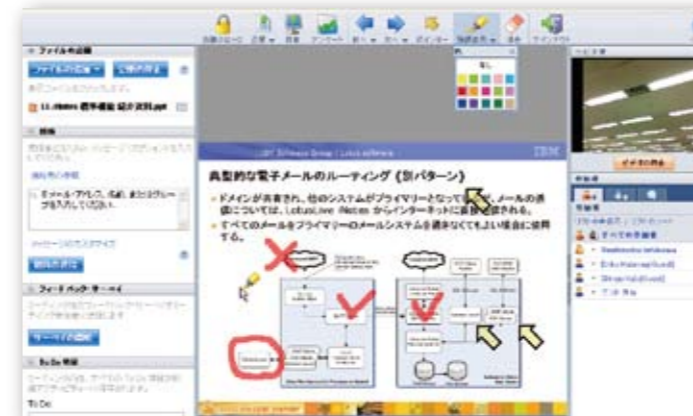
Web会議で閲覧する資料は、ファイル共有機能で掲載済みのファイルから選ぶことができます。また、ファイルだけでなくPC画面そのものを共有することもできるので、共有しているスライドのページを送ったり、他のスライドへジャンプしても参加者全員の画面に反映されます。さらに、チャット機能を併用し、参加者間での会話やファイルの送受信も行えます。



直感的で効率的なコミュニケーション

共有しているファイルや画面には、「矢印」や「蛍光ペン」などの効果を入れることができ参加者全員で同時に見ることができるため、直感的で効率的なコミュニケーションを行うことが可能です。また、会議中に出了検討項目やToDo事項もそのまま LotusLive のアクティビティー機能で管理・共有することができるのでプロジェクトとそれに伴う会議を効率よく進行することにもつながります。

Web会議は最大で1,000人まで参加可能なオプションが用意されているので大規模なWebセミナーの開催なども実現できます。



“人”に頼ったプロジェクトになっていませんか。

多くの業務がプロジェクト単位で進捗中、その進行や管理の方法は確立されず
“人”依存のプロジェクトマネジメントになりがちです。

プロジェクトを
立ち上げるたびに
重複した準備が
発生する・・・

プロジェクトの
途中から参加した
メンバーへの
情報共有が
できない・・・

プロジェクトの履歴が
個々のPCで
散漫に
保存されている・・・

IBM LotusLiveは、こうした“人”依存のプロジェクト環境を一新し、
より効率的なプロジェクト管理を実現します。

効率的なプロジェクト管理を実現する

アクティビティ機能

アクティビティ機能は、一連の作業を丸ごと共有できるスペースを提供します。

新しいプロジェクトを立ち上げ、
会議のToDoリストを管理することが可能です。
プロジェクトを共有したい他のメンバーを招待し、
ToDoを割り当てたり、ファイルを添付するなどして、
共通のスペースでプロジェクトメンバー全員の
意思の疎通を可能にします。

アクティビティの機能

- 柔軟なタスク管理
- テンプレートによるノウハウの再利用
- ToDoとその期限や優先度の割り当て
- タグ付け、コメントの投稿、ファイル添付
- アクセス制御
- 自動通知

プロジェクトの一連の流れを可視化

アクティビティ機能を活用することでプロジェクトの一連の流れが可視化でき、目標達成までのプロセスの明確化と達成状況の把握が可能になります。ToDoなどの新規項目を他のメンバーへ割り当てたり、期日・優先順位の設定をし、完了した項目にマークをつけて次の作業に移るなど、プロジェクトを進捗するうえで必要な機能が準備されています。また、e-メールによる自動通知を利用すれば、メンバー間で状況をより確実に共有することが可能です。

階層的な管理で スムーズなプロジェクト進行

アクティビティは、一連のプロジェクトの流れやディスカッション、経緯を包括して共有することが目的です。よって様々なタスクや進捗状況、実施結果を階層的に管理することが可能です。また、時系列に表示させることができるため最新状況をチェックすることで、いまプロジェクトで何が起こっているのかを把握することができます。さらに、途中でプロジェクトに参加したメンバーも、過去の履歴を迷うことなく把握し、スムーズに業務に関わることができます。

複数のプロジェクト管理でも 効果を発揮

アクティビティの個人用ToDo画面では、自分が関係している複数のプロジェクトのToDoを抽出して一覧表示させることも可能です。各ToDoに対しては、もちろんLotusLive上に掲載されたファイルをリンクしたり、コメントを書いたりすることができます。



ITインフラ改修に、コストや業務負担で不安を抱えていませんか。

企業規模を問わず、様々なビジネスでコミュニケーションやコラボレーションに対する意識が高まっています。しかし、多くの企業ではIT改修に伴うコスト面や人的な負担を考慮し足踏みをしています。

コミュニケーションに課題はあるが、インフラを改修する予算が見込めない……

新たな環境を構築するための人的なパワーがない……

今までの資産を活かしたIT投資を行いたい……

プロジェクト単位などの部分的な導入で、すぐに利用したい……

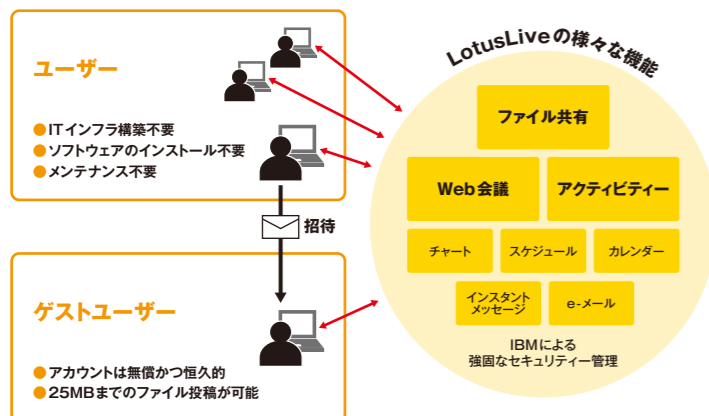
IBM LotusLiveは、最小限の投資で導入できる、次世代コラボレーションプラットフォームです。

SaaS (Software as a Service) による簡単・迅速な導入

LotusLiveは、SaaSにより提供されるサービスです。専用のITインフラを構築する必要がないため、ITスタッフやコスト面に負担をかけることなく簡単・迅速に導入することができます。また、ソフトウェアをインストールする必要もなく、Webブラウザのみで活用できるので、今までの資産を活かした運用が可能です。

SaaSによるメリット

- ITインフラ構築が不要
- メンテナンスが不要
- ソフトウェアのインストールが不要
- 最小限の初期費用
- 導入準備が不要なため、すぐに利用できる
- ユーザー数に応じた課金のため、導入規模を問わない



導入・運用面においても様々なメリットをもたらします。

LotusLiveは、SaaSモデルでの利用形態でサービスを提供しているため、専用のシステムはもちろんソフトウェアのインストールも一切不要です。よって、システム構築コストやその準備にかかる期間コスト、またIT担当者にかかる業務負担など、導入に関わる様々な負担も無く、すぐにコラボレーションを開始することが可能です。また、ユーザー数に応じた課金形態のため、事業拡大や部門統合などの企業の変化にも柔軟に対応することができます。また、エンタープライズでの導入はもちろん、新規事業の立ち上げや、社外との連携が発生する業務などのプロジェクト単位での導入にも最適です。運用面においても、IBMの最先端のセキュリティ技術を利用し、業務の運用を滞らせることなく安心してご利用いただけます。

LotusLiveでは、お客様の目的に沿った最適なサービスをご選択いただけます。

プランと機能の一覧

プラン		Engage	Connections	Meetings	Events	iNotes	Notes
30日間の試用期間		あり	あり	あり		あり	
コラボレーション	ファイル共有	●	●				
	ゲストユーザーの招待	●	●				
	チャート	●	●				
	インスタント・メッセージ	●	●				
	アクティビティ	●	●				
Web会議	デスクトップ共有	●		●	●		
	アプリケーション共有	●		●	●		
	スライド・プレゼンテーション	●		●	●		
	ビデオ	●		●	●		
	イベント管理				●		
メール	e-メール					●	●
	カレンダー機能					●	●
	スケジュール機能						●
ストレージ		5GB	5GB			25GB	

また、アドオンで右記の機能もご用意しています。 ●最大1,000人の参加者によるWeb会議 ●追加のストレージ・スペース
詳細はEメールまたはお電話にてお問い合わせください。

今後ますます広がるLotusLiveの世界

LotusLive Labs

IBMが提供するアルファ版ツールです。業務に役立つ様々なツールをWebブラウザだけで動かすことができ、コラボレーションをより加速させます。

詳細はWebサイトでご確認ください https://www.lotuslive.com/ja/lotuslive_labs

LotusLive Mobile

LotusLive Mobileを利用すれば、モバイル・デバイスからLotusLiveの各種サービスにアクセスできるようになります。移動時間やちょっとした隙間時間を使ってコラボレーションが可能になります。

詳細はWebサイトでご確認ください <https://www.lotuslive.com/ja/services/mobile>

LotusLiveのシステム要件

- HTTPおよびHTTPSアクセスによるインターネット接続
詳細についてはWebページでご確認ください。

IBM LotusLiveの試用版を30日間お試しください

IBMの次世代コラボレーション・プラットフォームLotusLiveを30日間の無料試用版でご利用していただくことができます。今すぐWebサイトにアクセスして、ご希望のLotusLiveコラボレーション・サービスをお選びください。

LotusLive 30日間お試しサイト www.lotuslive.com

LotusLiveに関するお問い合わせはこちら

まずはお気軽にご相談ください。

ご購入に関するご相談・ご質問

IBMソフトウェア・ダイレクト **0120-450-260**

接続後"2" (法人様向け IBMソフトウェアご相談窓口)を入力ください。

※受付時間 9時30分から12時、13時から17時30分

月曜から金曜まで (祝日、12月30日から1月3日、6月17日弊社創立記念日を除く)

トライアルにおける技術的なご質問

Japan_Support@lotuslive.com

* IBM、IBM ロゴ、ibm.com、LotusおよびLotusLiveは、世界の多くの国で登録されたIBM Corp.の商標です。
他の製品名およびサービス名等は、それぞれIBMまたは各社の商標である場合があります。
* 他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標。
* 現時点でのIBMの商標リストについては、下記をご覧ください。
www.ibm.com/legal/copytrade.shtml 「Copyright and trademark information」(英語)

●このカタログの情報は2010年5月現在のものです。仕様は予告なく変更される場合があります。



日本アイ・ビー・エム株式会社

〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21
05-10 Printed in Japan

お気軽にご相談ください。